

RICEBALL



SEMINAR

ライスボールセミナー

【日時】5月火曜日 / 12:20-12:50

【会場】創思館1階カンファレンスルーム

参加費無料・おにぎり付

多数ご参加いただいた場合、おにぎりの品切れ、および
入場制限が発生する場合がございます。あらかじめご了承ください。

2018. 5

vol.3
5/8
tue.デンマークのアクティベーション政策
—現代福祉国家における労働と福祉の意味を問う

【講師】 嶋内 健 (衣笠総合研究機構 専門研究員) 【受入教員】 櫻井 純理 (産業社会学部 教授)

vol.4
5/15
tue.

祇園祭の「町衆」と林屋辰三郎

【講師】 酒匂 由紀子 (衣笠総合研究機構 専門研究員) 【受入教員】 美川 圭 (文学部 教授)

vol.5
5/22
tue.

唐詩伝来：恵萼から市河寛斎まで

【講師】 富 嘉吟 (衣笠総合研究機構 専門研究員) 【受入教員】 萩原 正樹 (文学部 教授)

vol.6
5/29
tue.

魏晉洛陽城の高層建築 —「高さ」から見た都城と政治

【講師】 田中 一輝 (衣笠総合研究機構 専門研究員) 【受入教員】 松本 保宣 (文学部 教授)

“大学ではどんな研究が行われているのだろう？”と思ったことはありませんか？

ライスボールセミナーは、お昼の休み時間におにぎりを食べながら、若手研究者による研究発表を聞いて、自由にディスカッションを楽しむセミナーです。学生でも教職員でも、どなたでも気軽に参加していただけます。お昼のちょっとした空き時間に、是非のぞいてみてください。お茶やおにぎりをご用意してお待ちしています！

講師紹介

嶋内 健 (衣笠総合研究機構 専門研究員)



■ 専門分野 社会政策

■ 研究者の道に進んだきっかけ 日本における北欧福祉への注目は、もっぱら「寛容さ」だけに注目するくらいがあり、やや食傷気味な感じが否めませんでしたが、勉強を続けていくうちに、その寛容さは根強い就労規範と表裏一体であることに気がつき、この点を研究したいと強く思うようになりました。

■ 研究内容紹介 寛容な福祉国家で知られるデンマークですが、失業や病気などで働けなくなったときは、誰もが無条件で生活を保障する給付金を受け取れるわけではありません。労働に復帰するための職業訓練や教育に参加することが、給付金を受け取る条件としてすべての市民に厳しく義務づけられています。このような福祉の権利と労働の義務が一体となった福祉制度がどのように展開されているのか、その一部を紹介したいと思います。

デンマークのアクティベーション政策

—現代福祉国家における労働と福祉の意味を問う

酒匂 由紀子 (衣笠総合研究機構 専門研究員)



■ 専門分野 日本中世史 (室町・戦国期)

■ 研究者の道に進んだきっかけ 歴史の研究を通じて日本社会に貢献していた林屋辰三郎にあこがれて。

■ 研究内容紹介 京都の祇園祭は「町衆の祭」ともいわれています。この「町衆」とは、林屋辰三郎という研究者が創出した歴史概念用語ですが、祇園祭を通して、広く一般にも知られている言葉です。林屋のいう「町衆」は、応仁・文明の乱後の京都において、自治を展開した京都の民衆を意味しています。そうした「町衆」が京都の伝統・文化を築いてきたと考えられているものの、「町衆」に該当する人々の素性については、これまであまり研究されてきませんでした。私の研究は、この問題の解決に取り組むことにより、京都にどのような人々が関わっていたのかということを解明し、ひいては京都がどのような都市であったのかを考察しようとするものです。

祇園祭の「町衆」と林屋辰三郎

富 嘉吟 (衣笠総合研究機構 専門研究員)



■ 専門分野 唐代文学 『白氏文集』 和刻本漢籍

■ 研究者の道に進んだきっかけ 子供の頃から本が大好きで、大学時代も毎日図書館にこもって本を読みました。素晴らしい論文を読む時に、新しい資料を発見する時に、いつも胸が躍ります。研究者として生きていくのは、何より幸せだと思います。

■ 研究内容紹介 私は唐代文学を中心として研究を行っています。唐代文学と言えば、中国文学史上最も心が自由で開放的な時代だと言えましょう。李白や杜甫・白居易などの大詩人は中国のみならず、日本や朝鮮・ベトナムなどの漢字文化圏にも深い影響を与えました。一方で、晁衡や空海・崔致遠など周辺諸国からやってきた人々も唐代文壇の一員として活躍しており、唐代文学の包容力を示しています。ですから、今の日本における唐代文学に関する資料はたくさん残っており、なかには中国本土にすでに散逸した資料も数少なくないです。私はここ数年、主に『白氏文集』の伝来を手掛かりにして、古抄本や和刻本を用いて唐代文学受容の研究を展開しています。

唐詩伝来：惠萼から市河寛斎まで

田中 一輝 (衣笠総合研究機構 専門研究員)



■ 専門分野 東洋史学

■ 研究者の道に進んだきっかけ 自分の研究が人に読まれることの喜びを知ったから。

■ 研究内容紹介 従来の都城史研究では、考古学・発掘調査の結果から、都城全体や宮殿配置の復元などが課題とされてきましたが、今回は「高さ」という点に着目し、三国魏(曹魏)・西晋の首都であった洛陽城(魏晉洛陽城)を観察していきます。当時は「貴族」と呼ばれる人々が台頭しており、それに対して皇帝は専制の強化を志していた時代でした。そうした政治状況が、洛陽城の構造や高層建築などの「高さ」に、どのように影響したか、完成した洛陽城において、どのような政治が展開されたかを見ていきます。

魏晉洛陽城の高層建築 —「高さ」から見た都城と政治

【会 場】 立命館大学衣笠キャンパス 創思館 1 階 カンファレンスルーム

【日 時】 5 月 火曜日 12:20▶12:50

【主 催】 衣笠総合研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO)、
立命館大学リサーチライフサポート室

【お問合せ】 衣笠リサーチオフィス TEL: 075-465-8224 / FAX: 075-465-8342



ライスボールセミナー、Facebook ページも CHECK !
<https://www.facebook.com/riceballseminar>

